

ラーメン店の海外出店を加速 18年は売上10%増の22億円へ

ウィズリンク

飲食店経営のウィズリンク（安佐南区伴南1-5-30-2、江口歳春社長）は2017年4月期決算の売上高で前期比15%増の20億円を見込む。国内店舗数はほぼ横ばいだが、海外は東南アジアを中心にラーメン「ばり馬」を前年から3店増やすなど積極展開。4月には海外初のつけ麺「風雲丸」を香港に出店し、海外展開に力を入れる。18年は香港やフィリピンなどで約10店を予定。売上高は10%増の22億円を目指す。

海外はシンガポールとマレーシア、中国、香港、マカオで13店を構える。海外での交流サイト（SNS）や口コミ情報サイトなどを活用して知名度を上げている。4月21日に同社で海外初の風雲丸を香港にオープン。今後、同業態を同所で5〜6店開きたい考え。8月には中国広東省にばり馬を予定し、20年には中国、香港、マカオで両店合わせ20店体制とする。今夏にはフィリピンにばり馬で初進出する。本社で中国、台湾、ベトナム、ネパール人を採用。国内で外国人を教育し、将来は母国の出店時の人材育成につなげたいとしている。

国内は中国地方を中心に直営15店、フランチャイズ（FC）51店の計66店を構える。16年は、9月に山口県周南市と呉市広本町、香川県観音寺市に「鶏白湯ラーメンとりの助」